

## 新宮神社 年間祭禮日 令和四年度

◎例大祭	5月2日	1年に1度行われる最も盛大で大切な祭儀で、大神様と氏子が親しく交わる神事。元宮祭・宵宮祭・例大祭、神幸祭（渡御行列・神輿巡行・稚児社参・還幸祭）有り。
神輿渡御	5月8日	大神様が氏子区域を廻り、郷内の安全・繁栄を祈り願う祭。【春季大祭】
元宮祭	5月2日	往古の昔、元々は新宮神社は長野地域の旭町に御鎮座しており今日は元宮祭として祭祀。現在は例大祭と合わせて元宮荒御霊祭として祭儀。
御田植祭	5月下旬	紫香楽ファーム様のご協力で地元米を大神様の御神前に初穂米として献上する。
夏越 大祓式	6月30日	夏越祓・水無月祓ともいい、人形による半年間（1月～6月上半期）の罪穢を祓清める神事。氏子崇敬者の人形を祈禱する。年2回有り。
◎祇園祭	7月10日 夏季大祭	滋賀県無形民俗文化財指定の花振神事有り、祇園花を奪い合って家に持ち帰り1年間花を祀る。郷内安全・疫病退散・家内安全・無病息災を祈る祭。【夏季大祭】
◎火祭	7月23日 境外摂社 愛宕神社	古来より新宮神社の摂社として、愛宕山山頂に祀られている、火の神・土の神・陶祖神に松明を奉納し、火・土・陶に感謝すると共に日頃の御加護と御恵みに感謝し、鎮火（火伏せ）も合せて祈り願うまた陶器業界の守護・繁栄を祈る祭。本来、火祭の祭日は23日。
八朔祭	8月1日	八月朔日の略。稲等の農作物を台風等（自然災害）より護り願い祈る祭。当社では古来より湯立神楽を奉納して郷内の安全を願う。
厄日祭	8月31日	二百十日の前夜に御神前に灯火を献納して、二百十日・二百廿日の厄日に地震等（自然災害）が郷内に無いように祈願する祭。
放生祭	9月15日	生きものを池や川、山や林等に放し供養（慰霊）する神仏教の殺生戒に基づく行事。当社では生き放す代りに湯立神楽を行う。
秋分祭	秋分の日	皇祖（歴代天皇）と氏子崇敬者の祖霊を祭り祖先に感謝し、国家・皇室・氏子崇敬者の繁栄・安泰を祈る祭。
抜穂祭	9月下旬	紫香楽ファーム様のご協力で地元米を大神様の御神前に初穂米として献上する。
◎當家祭	9月下旬 秋季大祭	現在は無いが往古より宮座（4座）の氏子の當家（當番家）の祭儀で宮座に参籠して大神様に平素の安全無事を感謝（神恩感謝）し芸能奉納（神楽田楽・薪能等）を催して、神人和楽した名残の祭儀であり、大神様の御神意を和め氏子崇敬者も共に楽しむ祭。【秋季大祭】
忠魂碑 慰霊祭	10月上旬	旧信楽町内の三百二柱の英霊を祀る石碑。日清・日露・大東亜の諸戦役において国事に尊い生命を捧げた人々の英霊に感謝と敬意の心で慰霊する祭。世界平和と国家の隆昌を願い祈る。後世に伝え残す祭儀の1つである。
神嘗祭 奉祝祭	10月17日	伊勢神宮の神嘗祭（天皇が伊勢神宮に新穀を奉る祭儀）の当日ににあわせて行う祭（伊勢神宮遥拝式）で、全国の各神社で行われるものを神嘗祭奉祝祭と云う。
◎新嘗祭	11月23日	伊勢神宮で行われる祭儀を神嘗祭と称し、一般神社で行う祭を新嘗祭と云う。シンジョウサイともいい、新穀を神様に奉って感謝する祭で、農耕文化を中心としてきた日本の祭の中でも重要な祭儀。2月の祈年祭と1対のまつりで、新穀（初穂）感謝の報賽の祭。
年越 大祓式	12月31日	夏越祓に対して年末に行うものを年越の祓といい、人形による半年間（7月～12月下半期）の罪穢を祓清める神事。氏子崇敬者の人形を祈禱する。年2回行う。
除夜祭	大晦日～元旦	1年で最後の祭で年間の御守護に対して感謝する報賽の祭儀で、明年の国家・皇室・氏子崇敬者の繁栄・安泰を祈る祭。
◎歳旦祭	1月1日	元旦祭・新年祭ともいい、新年を祝い国家・皇室・氏子崇敬者の繁栄・安泰を祈る祭。
元始祭	1月3日	天皇の皇位の元始即ち皇位の天壤無窮を祝福したまえる本始を祝い、年始に当り報賽する。
山神祭	1月3日	御祭神の大山津見神は長野字西出・字川東に山神社として2社鎮座、大正4年5月30日当社に合祀する。新宮神社御鎮座千参百年祭を機に御本殿左側の社殿に祭祀。
御神木祭	1月3日	境内にお祀りしてある末社の御神木社（初代御神木）の祭。
節分祭	2月3日	節分とは季節の変わる節目の意味で、本来は立春・立夏・立秋・立冬の前日を云うが、今日では特に冬から春に移る立春の前日のみをさすようになっていきます。災厄や邪気を祓う神事で、氏子崇敬者の除災招福を祈る祭。当社では毎年還暦者の奉仕により福まき有り。
紀元祭	2月11日	建国祭ともい、わが国の建国（神武天皇御即位の日）されたお目出度い日（建国記念日）に建国の歴史を偲び国の隆昌と皇室・氏子崇敬者の繁栄・安泰を祈る祭。
神武祭	2月11日	境内にお祀りしてある末社の神武天皇社の祭。
天長祭	2月23日	今上天皇の御降誕生日を御祝福して、聖壽の無窮と壽詞を神明に奏上する祭。
◎祈年祭	3月17日	トシゴイノマツリともいい、五穀豊穣と国家・皇室の安泰と氏子崇敬者の幸福と諸産業の発展を祈る祭。新嘗祭と1対のまつりで、「トシ」は稲【命の根】の稔りを意味する。
春分祭	春分の日	皇祖（歴代天皇）と氏子崇敬者の祖霊を祭り祖先に感謝し、国家・皇室・氏子崇敬者の繁栄・安泰を祈る祭。
大国祭	甲子の日	境内にお祀りしてある末社の大国社（田所神社）の祭。五穀豊穣・商売繁盛等（結縁の御利益）大国主神を祀る。福の神として人気の神様で福徳円満を祈る祭。（甲子の日は年6回）
月始祭	毎月1日	毎月1日にその月に大神様の御神徳の益々の御加護と郷内の安全と氏子崇敬者の無事安全を祈る祭。1年祈禱の各月祭もあわせて行う。
月次祭	毎月16日	往古の昔、今の5月の例大祭の祭日は4月16日に行われていた処から由來し、毎月16日に各月の1日と同じく氏子崇敬者の無事安全を祈る祭。

毎月1日・16日には氏神様に参拝しましょう！ 祝祭日には国旗を掲げましょう！

毎月1日は、「おついたち」清掃奉仕日です、終了後は月始祭に参列

3月	～	5月	朝七時	1時間程度
6月	～	9月	朝六時	〃
10月	～	12月	朝七時	〃

氏子崇敬者皆様方のご奉仕ご神勤をお願い申し上げます

紫香楽一乃宮 新宮神社